

「光と影と綾なす色彩が乱反射し、私を包み込んでしまった。なんと不思議な世界だろう。眩しさと心地よさ。無機質と有機体。相反するものが融合し、新たな世界が広がってゆく。」

マンリオ・カデロ氏 サンマリノ共和国  
特命全権大使（編集協力）

星雲社 2005年

「織りなす光の流れ」「光と色彩のモザイク」

理1 守田美代子

2022年は7月23日～26日、宮城県芸術祭絵画展。10月19日からは二紀展に出品なさる守田美代子さんに、県芸術祭展示会場にて、作品についてお話をうかがいました。ご主人の徹さんと連れ立って会場へお越しになり、質問には、時には徹さんが、時にはお二人で、と二人三脚でお答えいただきました。

質問：県芸術祭の出品作「オマージュ・ア・ステラ」は何を表現なさっているのですか？

徹さん：絵を描く人は、描きたいから描くのです。なぜ、とか、どこにひかれたか、とかは考えない。対象自体に興味を持つ。なぜ、と考えるのは、心理学です。なので、この質問に答えを要求するのは間違いです。

質問：秋の二紀展に出品なさるのはどのような絵画か教えてください

徹さん：今（7月末）描いている。その絵は、オマージュ・ア・ステラ（2019二紀展に出品）と似た絵だが、色彩と外枠の形が違う。細長い外枠。長さの構造をかえたほうが、ピッタリくる。表現したいもの（それが何かと聞かれると困るのだけれど）、自分がこういうものをだしたい、というのにピッタリくる。



I Books 2017年

美代子さん：そうです。そうです。

質問：「織りなす光の流れ（2005）」では、反射シリーズが紹介されています。直線で光の反射と屈折が描かれ、曲線で生物体が描かれています。何を表現なさっているのでしょうか？

美代子さん：随分昔のことです。あ、そうこれは実際にエスカレーターで上がったり下がったりして撮影していて、画像が変わって、写真がぶれたりしたのが面白かった。両側に鏡があって、そこに写っているものが面白い、その情景が面白い。描きたいって思う。

質問：描きたいという気持ちは、湧いてくるのですか？

徹さん：面白いと思う。そして描く。

質問：その時、描くと描かないとの差は何ですか？

徹さん：絵描きだから描く。こういう情景をみたから、面白いから描く。なぜ描きたいかは、考えたり思ったりしない。

美代子さん：こうしたら面白い、ここに人物を入れたら面白い、と描いてゆく。

質問：「光と色彩のモザイク (2017)」では、モザイクシリーズが紹介されています。描かれた光が、面から飛び出して、こちらに迫ってくるように立体的にかかれており、強いインパクトを受けます。

美代子さん：パソコンの画像処理をつかって、自分の絵を操作したり、絵に色を入れ込んだりしている。

二紀展開催中の  
国立新美術館企画展 国立新美術館開館 15周年記念 李禹煥  
紀展会期中に限りこの「ご招待ハガキ」を美術館企画展券売所で提示すると割引（他割引券との併用はできません）で観覧できます。

5th NIKI-EXHIBITION Paintings & Sculptures 2022

第75回記念 NIKI ~ 2022  
**二紀展**

10.19 wed ~ 31 mon 国立新美術館  
東京・六本木 東京都港区六本木 7-22-2 展示室 1 C/1D/2C/2D/3B/ 野外展示場 C/D  
10/25(火) 休館 / 開会時間 10:00-18:00 10/31(月) は 14:30 閉会  
入場は閉会の 30 分前まで  
アクセス：東京メトロ千代田線 乃木坂駅 青山霊園方面改札6出口（美術館直結）、東京メトロ日比谷線 六本木駅 4a 出口から徒歩約5分、都営地下鉄大江戸線 六本木駅 7 出口から徒歩約4分 ※美術館に駐車場はございません

巡回展

名古屋 展	2022 年 12 月 6 日 ~ 11 日	愛知県美術館
広島 展	2023 年 1 月 24 日 ~ 29 日	広島県立美術館
京都 展	2 月 21 日 ~ 26 日	京都市京セラ美術館
福岡 展	3 月 7 日 ~ 12 日	福岡市美術館
宮崎 展	4 月 16 日 ~ 23 日	宮崎県立美術館
長崎 展	5 月 (開催予定)	長崎県美術館
浜松 展	5 月 23 日 ~ 28 日	クリエイート浜松
金沢 展	6 月 6 日 ~ 11 日	金沢 21 世紀美術館

質問：2019 二紀展に出品されたオマージュ・ア・ステラは一転して、ほとんどが曲線で描かれています。トーンもモチーフも、モザイクシリーズとは違いますが、なにかかわったのでしょうか？

美代子さん：ステラは、モザイクとは違う。PCで描くときに、描きたいものはその時々で違うし、新しい何かをしたい、こういう技法をつかって変形させたら面白い、と描く。

質問：実験していらっしゃるようですね？

美代子さん：縦長にしたり、横長にしたり。いろいろなデータを見て、やっている

質問：どのようなパソコンをお使いですか？

徹さん：普通のPCです。ソフトとして、フォトショップを入れている。

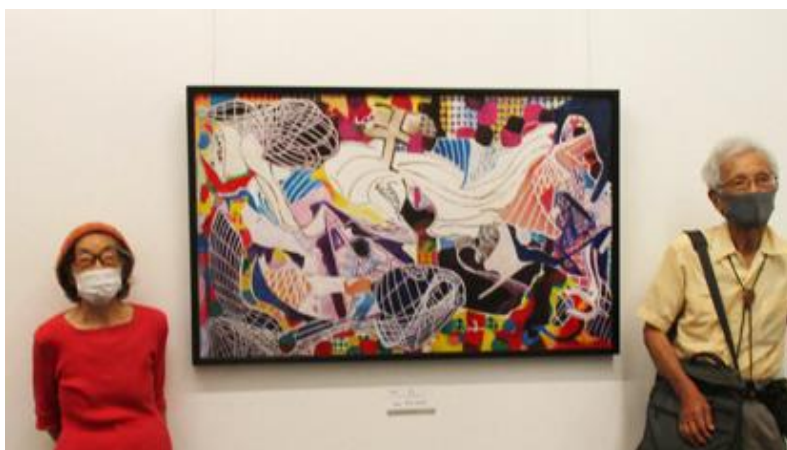
## 2022 年 第 75 回記念二紀展

質問：公募展での展示を続けていらっしゃるということについてお聞かせください。アート作品は、独創的であることや、新しい表現を求められ、若い感性と比較されることも多いと思います。絵を描く喜びばかりではないと思いますが、続けておられるわけをおしえて下さい。

徹さん：描きたいと思う気持ちですね。こんな絵を描きたいという気持ちがあるうちは描く。歳をとって止める、定年で止める、評価されることに疲れて止める人もいるが、やっぱり、それが面白いと思って描かなきゃ、というより、描きたいという気持ちが、若さが続いているということ。描きたいという対象があったら描く。無理にではなく、自然に描く。描かなくなったら、止める。みんなそうです。面白い、描きたいという気持ちがいつまであるか。歳の問題ではない。

美代子さん：もう二紀展止めちゃおうかなあ、と思ってたら、準会員になったから続けている。準会員になったんだから、止めれないわ（笑）

- ◆取材者が口頭で質問して、口頭で答えていただきました。内容を録音させていただき、文字におこしました。
- ◆「織りなす光の流れ」「光と色彩のモザイク」は、はぎの会に寄贈いただいています。ご覧になりたい方は、事務局へご連絡ください。
- ◆オマージュ・ア・ステラ（2019 二紀展に出品）は、同窓会ホームページ仙台支部の扉に掲載させていただいています。
- ◆非言語表現である絵画を、言語で説明してほしい、という取材者の無茶な要求を快く引き受けてくださいました。機会がありましたら、皆様も是非実際の絵画を視て下さい。



第 59 回宮城県芸術祭絵画展 出品作品  
オマージュ・ア・ステラ（アクリル）とともに

#### 守田美代子（理1）

1927 年 千葉県生まれ  
1944 年 津田塾専門学校理科物理化学科入学  
1947 年 同学科卒業  
1958 年 東京工業大学大学院修士課程修了  
1966 年 Corcoran School of Art 短期在籍  
1971 年 Ohio University, School of Art 短期在籍  
1995 年 武蔵野美術大学短期大学部美術学科卒業

1974 年に仙台丸善画廊で個展を開催。それ以後、河北美術展などでの受賞や、二紀展、上野の森美術展での入選などをかさねられ、95 歳の現在も、二紀展準会員や宮城県芸術祭運営委員として、出品を続けられています。

#### 守田徹

1931 年 東京都生まれ  
1995 年 東北大学定年退職、東北大学名誉教授

#### こぼれ話

- ① 寮では、3 年になって英文科の中根千枝さんと同室になった。英文科の方と同室になりたい、と願っていたので、嬉しかったし、中根さんが闊達な方で刺激を受けた。
- ② 「ステラ」とは、フランクステラ（米の画家）のこと。「ステラ」とは女性だと勝手に想像していた（ステラおばさんのクッキーより連想）という取材者の発言に「男とか女とか、関係ないじゃない？ 考えないわ！！」